

一般社団法人

F・マリノススポーツクラブ 「スポーツで繋がる・創る」 活動レポート

2021年2月～12月



F・Marinos Sports Club

F・マリノススポーツクラブ 理念



F・Marinos Sports Club

スポーツが持つ無限の可能性に挑戦し、
地域社会と共に「夢」と「幸せ」、そして「未来」を創出する。

【スポーツで繋がる、創る】

スポーツのチカラで人と人を繋ぎ、地域社会の未来を創るエンジンに

【あらゆる人に、スポーツを】

あらゆる人がスポーツを楽しみ、「夢」を追うことができる
環境・機会を創出し、地域社会にスポーツでもっと「幸せ」を

【この街から、世界へ】

世界で活躍できる選手を育成し、子供たちと地域社会に夢と未来を



【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年2月)



F・Marinos Sports Club

活動名	横浜市港北区におけるホームタウン活動の協力に関する5者基本協定締結式		
主催／協働	港北区役所、港北区連合町内会、港北区商店街連合会、横浜マリノス株式会社		
対象	上記団体		
実施日(期間)	2021年2月25日	実施場所	オンライン
活動の目的 解決したい課題	横浜マリノス株式会社・港北区役所・港北区連合町内会の3者で結んでいた地域連携協定を港北区商店街連合会、一般社団法人F・マリノススポーツクラブを加えた5者で再締結。各団体との連携を深め港北区内での地域活動の更なる充実を狙う。		
活動内容	協定書の取り交わし、締結式をオンラインで実施。		
活動の結果	・「横浜市港北区におけるホームタウン活動の協力に関する5者基本協定」を締結		
活動の様子	・港北区長、港北区連合町内会会長、港北区商店街連合会会長、横浜マリノス株式会社代表取締役社長、一般社団法人F・マリノススポーツクラブ代表理事がオンライン締結式に出席し、協定書の確認・取り交わしを行った。		
対応するSDGs	 		



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年3月)



活動名	「みんなで元気に！F・マリノスといっしょにカラダを動かそう！」動画制作		
主催／協働	港北区役所		
対象	港北区を中心とした横浜市内在住の子どもたち		
実施日(期間)	2021年3月	実施場所	オンライン
活動の目的 解決したい課題	誰でも簡単に取り組める運動を紹介することで、区民、特にこども達にスポーツへの関心を高めてもらい、体を動かすきっかけとする。		
活動内容	港北区役所制作で動画を制作。F・マリノススポーツクラブのコーチ・マリノスケ・トリコロールマーメイズが出演し、誰でも簡単に取り組める運動を動画で紹介。		
活動の結果	制作した動画は横浜市YouTube、港北区内デジタルサイネージ等で放映。		
活動の様子	F・マリノスコーチからはボールを使った簡単な運動を、トリコロールマーメイズのメンバーからは自宅で簡単にできる体操を紹介した。		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年3月)



F-Marinosaurs Sports Club

活動名	ひと目でわかる横浜の財政		
主催／協働	横浜市財政局		
対象	横浜市内小学校		
実施日(期間)	2021年3月	実施場所	オンライン、市内各所
活動の目的 解決したい課題	小学生をはじめとした横浜市民に横浜市の財政のことをわかりやすく伝えたい		
活動内容	横浜市の財政に関するマンガ風の解説書を横浜市が制作。横浜市の「財政広報大使」としてマリノスケが誌面に登場。また、財政局のWebサイトの一問一答にもマリノスケが登場。		
活動の結果	制作した冊子は区役所などに配架されると同時に、オンラインで市内小学6年生にデジタル配布。市のWebサイトでも閲覧可能。		
活動の様子	誌面については、こちらを参照のこと。 https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/jokyo/kohoshi/r3hitoyoko.html		
対応するSDGs	 		



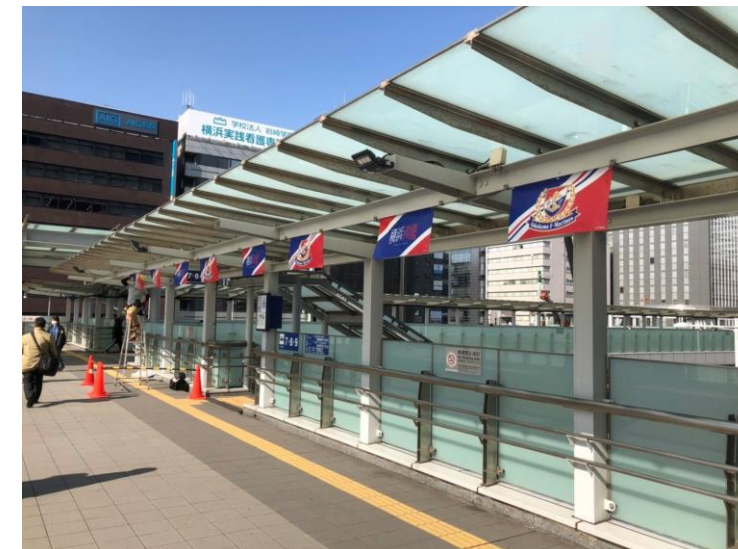
F-Marinosaurs Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年3月)



F・Marinos Sports Club

活動名	新横浜ペDESTリアンデッキへのバナー掲出		
主催／協働	港北区役所		
対象			
実施日(期間)	2021年3月～	実施場所	新横浜ペDESTリアンデッキ
活動の目的 解決したい課題	横浜F・マリノスのホームスタジアムである日産スタジアムの周辺の「トリコロール化」の推進		
活動内容	港北区役所との連携協定により非広告媒体であるこの場所へのバナー掲出を実施		
活動の結果			
活動の様子	掲出の様子は右記参照		
対応するSDGs			



※2020年撮影



F・Marinos Sports Club

F. Marinos Sports Club

[illegible]

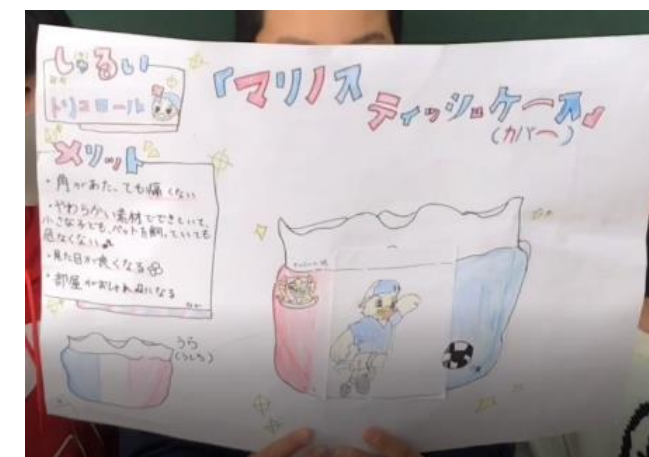
F•Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年3月)



F-Marinos Sports Club

活動名	横浜F・マリノスをテーマにした総合の学習の時間		
主催／協働	横浜市立城郷小学校、横浜市立箕輪小学校、F・マリノススポーツクラブ		
対象	横浜市立城郷小学校・箕輪小学校 6年生		
実施日(期間)	2020年7月～2021年3月	実施場所	横浜市立城郷小学校・箕輪小学校
活動の目的 解決したい課題	「横浜F・マリノス」をテーマに自由な発想で課題解決に取り組んでもらうことで、「自ら進んで学ぶチカラ」「問題を多角的に分析するチカラ」「課題解決のためのアイデアを練るチカラ」を錬成することを狙う。さらに地元プロサッカー клубを題材にすることで、地元への更なる理解と愛着を持ってもらうことを狙う。疑似的に企業活動を体験してもらうことになるので、「働く」ということへの理解も深める。		
活動内容	総合の学習の時間の学習テーマに「横浜F・マリノス」を採用。「横浜F・マリノスがもっと地域に愛されるクラブになるには？」というテーマでマリノス社員からのオリエン～生徒達からのアイデアプレゼンテーションをおよそ半年かけて実施する。		
活動の結果	・生徒達が多くアイデアをプレゼンテーション。		
活動の様子	・生徒たちが自由な発想で様々なアイデアをプレゼンテーションしてくれた。 ・中には、実際に会社の事業として採用してもいいくらいの良いアイデアもあった。 ・試作品の製作など、わかりやすいプレゼンテーションのために生徒たちが一生懸命取り組んでくれた。		
対応するSDGs			



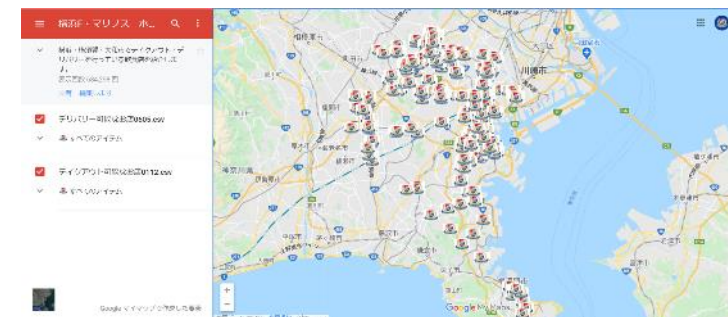
F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(5月)



F・Marinos Sports Club

活動名	ホームタウンテイクアウトマップ シャレン！アウォーズ受賞		
主催／協働	F・マリノススポーツクラブ、ファン・サポーターの方々、		
対象	ホームタウン内の飲食店・ホームタウン内の市民の方々		
実施日(期間)	2020年4月～現在	実施場所	オンライン上
活動の目的 解決したい課題	新型コロナウイルスの影響でお客様の足が遠のいている飲食店の皆様、外出が制限されている地域の方々を結ぶこと		
活動内容	Googleマップ上でテイクアウト・デリバリーが可能なお店を集めたマップを公開。 お店の情報は各団体からの収集と、SNSやWebサイト上でファン・サポーターの方々から収集。		
活動の結果	- ローンチから1か月弱でマップ掲載店舗が200弱から約600店舗に。 - Jリーグの社会連携活動を表彰する「シャレン！アウォーズ2021」の「ソーシャルチャレンジャー賞」を受賞。		
活動の様子	- マップの様子は右記画像参照 「シャレン！アウォーズ」の表彰式として、Jリーグ原副理事長から盾をいただきました。		
対応するSDGs	  		



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(5月)



F-Marinosaurs Sports Club

活動名	はまっ子交通あんぜん教室		
主催／協働	港北区役所／港北区内横浜市立小学校、港北警察、港北区交通安全協会、アネスト岩田株式会社、トリコロールマーメイズ		
対象	港北区内小学生		
実施日(期間)	2021年5月11日～2021年11月	実施場所	港北区内横浜市立小学校 26校
活動の目的 解決したい課題	港北区内小学校の生徒達(主に1年生・3or4年生)に道路の歩き方と自転車の走り方、内輪差・制動距離・死角などを伝えて交通安全に対する意識を高めてもらい、交通事故にあう子供を減らすことを目的とする。		
活動内容	全体のプログラムの構成は区役所、指導は警察・交通安全協会、デモンストレーション協力でマリノスおよびトリコロールマーメイズが活動。キャラクターのマリノスケが登場することで子供たちの注意をひいたり、飽きさせないものになっている。また、2021年からアネスト岩田株式会社にも運営ご協力をいただいている。		
活動の結果	・中止、延期校を除く18校3933人が交通安全教室に参加。		
活動の様子	・マリノスケが登場することで、子供たちの興味をひくものになっている。 ・学びがその場限りにならないように、継続して学べる仕組みも考えていきたい。 ・アネスト岩田さんにご参画いただくことで更なる活動の展開も考えていきたい。		
対応するSDGs	 		



F-Marinosaurs Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年6月)



活動名	「Stay Strong Together ホームタウンの商店街を応援しよう」プロジェクト		
主催／協働	メルコリゾーツ&エンターテインメントジャパン、横浜弘明寺商店街協同組合、たまプラーザ駅前通り商店会、中山商店街協同組合、久里浜商店会協同組合、大和駅周辺 すずらん通り商店会		
対象	ホームタウン内の商店街		
実施日(期間)	2021年4月～6月	実施場所	上記各商店街・日産スタジアム
活動の目的 解決したい課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け苦境に立たされているホームタウンの商店街を元気にしたい		
活動内容	・メルコリゾーツが持つスポンサー権利を参加商店街に提供し、認知度の向上、集客、活性化を図る。 ・横浜市・横須賀市・大和市の商店街から5つの商店街を選定、各商店街と共にアクティベーションを展開		
活動の結果	・各商店街をPRする動画を作成 ・中山商店街、すずらん通り商店街では日産スタジアムのホームゲーム時にブースを出展		
活動の様子	・活動の様子の詳細はこちらより。 https://www.f-marinos-sportsclub.com/news/hometown/1051/		
対応するSDGs	  		



F. Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年6月)



活動名	プラごみ削減 資源循環局Twitterキャンペーン		
主催／協働	横浜市資源循環局		
対象	横浜市民		
実施日(期間)	2021年6月30日	実施場所	オンライン
活動の目的 解決したい課題	プラスチックごみの削減、市民の意識醸成		
活動内容	横浜ゆかりの方々から、自身のプラごみ削減行動や意気込みなどの1分程度のメッセージ動画をツイッターアカウント「よこはまプラ対策」で、期間中に、ハッシュタグ「#横浜からプラごみ削減」をつけて毎日発信。 マリノスもマリノスケとトリコロールマーメイズがメッセージを提供		
活動の結果			
活動の様子	右記画像参照のこと。		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年6月)



F-Marinos Sports Club

活動名	横須賀市長選啓発ポスター制作		
主催／協働	横須賀市役所		
対象	横須賀市民		
実施日(期間)	2021年6月	実施場所	上記
活動の目的 解決したい課題	6月27日実施の横須賀市長選の投票率の向上		
活動内容	横浜F・マリノスジュニアユース追浜出身選手である天野純選手を起用した選挙啓発ポスターを制作		
活動の結果	・市内約800か所にポスターを掲出 ・投票率は33.41%		
活動の様子	・デザインは右記参照		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年7月)



F-Marinos Sports Club

活動名	神奈川県青少年育成啓発クリアファイル作成		
主催／協働	神奈川県庁青少年課		
対象	横浜市・横須賀市・大和市等の中学校		
実施日(期間)	2021年7月9日	実施場所	上記
活動の目的 解決したい課題	青少年の健全な育成のために、気を付けなければいけないことを 青少年本人、さらにはその周囲の大人にも啓発するために理解を促進させるグッズを制作する		
活動内容	青少年健全育成のための啓発クリアファイルを制作し、各学校に配布。 制作～納品はマリノスが実施。		
活動の結果	・クリアファイル13,500部を231校に配布		
活動の様子	・デザインは右記参照		
対応するSDGs			



F-Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年7月)



活動名	横浜市立大綱中学校 職業講話		
主催／協働	横浜市立大綱中学校		
対象	横浜市立大綱中学校の1年生		
実施日(期間)	2021年7月16日	実施場所	横浜市立大綱中学校
活動の目的 解決したい課題	中学一年生の生徒たちに「働く」ということを考えてもらうきっかけとする。		
活動内容	中学一年生の生徒たちにホームタウン担当の社員が自身の仕事やキャリア、仕事をする上で大事にしていること、などを語る。		
活動の結果	大綱中学校1年生が多数参加。		
活動の様子	講演時間はおよそ30分であったが、多くの生徒が耳を傾けてくれた。		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年7月)



活動名	「夏の交通事故防止運動」		
主催／協働	神奈川県警察本部 交通総務課		
対象	神奈川県民		
実施日(期間)	7/11(日)~20(火)までの10日間	実施場所	神奈川県警公式Twitter
活動の目的 解決したい課題	県内の交通事故情勢は、交通事故で亡くなった方は48人と前年の同時期と比べて22人減少しているが、発生件数、怪我をされた方は増加傾向であり、交通安全活動強化への啓発協力		
活動内容	神奈川県警公式Twitterでの選手による交通安全呼びかけの啓発協力（水沼選手・高野選手）		
活動の結果			
活動の様子	写真参照		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年8月)



活動名	横浜市長選啓発活動		
主催／協働	港北区役所		
対象	港北区内の選挙権を持つ市民全て		
実施日(期間)	2021年8月	実施場所	港区内
活動の目的 解決したい課題	8月22日実施の横浜市長選における港北区の投票率の向上		
活動内容	・マリノスケとミズキーのコラボデザインの選挙告知ラッピングカーを区内で走らせる ・F・マリノスアンバサダーの波戸康広さん・クラブシップ・キャプテンの栗原勇蔵さんの選挙告知アナウンスを上記ラッピングカーおよび区役所等で放送		
活動の結果	・港北区の投票率は49.38%(前回より13.62%上昇)、18区中9番目。		
活動の様子	・ラッピングカーデザインは右記参照		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年8月)



活動名	オンラインラジオ体操		
主催／協働	港北区役所・、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科		
対象	小学生		
実施日(期間)	2021年8月2日～6日、8日～13日	実施場所	オンライン
活動の目的 解決したい課題	地域交流・活性化につなげるとともに、子どもたちをはじめとした区民の皆様に運動機会を提供 詳細は こちら も参照		
活動内容	・ラジオ体操第一・第二をZoom・YouTube配信を通してオンライン開催。10日間の中で様々なゲストが出演しゲストにまつわるクイズやスポーツにまつわるSDGsに関する情報をレクチャー。 ・マリノスケが8月11日の回にゲスト出演。		
活動の結果	・Zoom参加数は142、YouTube視聴数は230。		
活動の様子	・オンラインではあるものの、マリノスケの登場に子どもたちからは歓声があがっていた。 ・他の子どもたちの様子を見ながら取り組めるので、子どもたちもラジオ体操に一生懸命取り組んでいた。		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年8月)



活動名	港北区 Stay Home		
主催／協働	港北区役所		
対象	港北区民		
実施日(期間)	2021年8月	実施場所	オンライン
活動の目的 解決したい課題	新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための人々への呼びかけ		
活動内容	・感染拡大が続く中で今一度ステイホームを港北区ゆかりの人からTwitter上で呼びかけてもらう企画。 - 横浜F・マリノスからはマリノスケが呼びかけをおこなった。		
活動の結果			
活動の様子			
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年8月)



活動名	横浜市 みんなのケータイリサイクル！		
主催／協働	横浜市資源循環局、横浜市内スポーツチーム		
対象	横浜F・マリノスホームゲーム来場者		
実施日(期間)	2021年5月～	実施場所	日産スタジアム
活動の目的 解決したい課題	・リチウムイオン電池を含む電子機器の発火トラブルの防止 ・携帯電話を構成するレアメタル（希少金属）のリサイクル促進 詳細は コチラ も参照。		
活動内容	・スタジアムにて携帯電話回収ボックスを設置、ホームゲーム来場者から不要な携帯電話を回収する。 ・回収された携帯電話は障がい者就労施設にて分解される。 ・横浜のスポーツチームが複数参画。		
活動の結果	・5月30日 約90台回収 ・8月28日 30台回収		
活動の様子	・使用済み携帯電話を捨てられず家に保管しているサポーターの方々も多く、一人で3台以上持ってきてくれる方も。 ・5月30日の実施時は回収ボックスからあふれるほど集まった。		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年8月)



活動名	#命つながくアクション 「スタジアムで倒れている人を見かけたら」 動画		
主催／協働	F・マリノススポーツクラブ、一般社団法人松田直樹NextGeneration、横浜市消防局(動画内容監修)		
対象	横浜F・マリノスホームゲーム来場者		
実施日(期間)	2021年8月～	実施場所	日産スタジアム / ニッパツ三ツ沢球技場
活動の目的 解決したい課題	・ 人が倒れているのを見かけた時に正しい行動をとれるように。		
活動内容	・ 倒れている、かつ心肺停止に陥っている人をスタジアムで見かけた時にどのような行動をとるべきかを啓発する動画を作成しホームゲームで放映する。 ・ 動画内ではスタジアム内のAEDの場所も紹介		
活動の結果			
活動の様子			
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年8月)



活動名	LEADS TO THE OCEAN 海につづくプロジェクト（通称：LTO）		
主催／協働	NPO法人海さくら、日本財団／プロスポーツチーム(21年8月時点：17チーム)		
対象	誰でも		
実施日(期間)	2021年8月28日(土)	実施場所	日産スタジアム周辺
活動の目的 解決したい課題	スポーツと清掃活動を軸に、海・自然環境への意識を高め、次世代に美しい自然を残すためのプロジェクト。 「海にゴミは行かせない！」を合言葉に、街から海に流れるゴミを減らし、本来の美しい海・環境を取り戻す。 LTO活動の詳細は コチラ		
活動内容	日産スタジアムでのホームゲーム試合前にゴミ拾いを実施。 基本3時間前から試合開始までの間に実施しており、皆様のお好きな時間に参加可能。 年間に規定数以上のスタンプを集めると『ゴミ拾いマスター』に認定！（21シーズンは9個以上）		
活動の結果	参加者：35名 集めたゴミ(ゴミ袋)の数：可燃ゴミ6袋、不燃ゴミ7袋		
活動の様子	8月は1回実施。 3ヶ月ぶり、そして暑い中であつたが、数人の方が初めて参加してくれた。 9月はまたホームゲームが無くLTOの実施も無いため【おうちでLTOキャンペーン】を実施。 受付や場内ビジョンではキャンペーンの告知も実施。		
対応するSDGs	   		



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年8月)



活動名	Rethink PROJECT : F・マリノスユース向け勉強会および清掃活動		
主催／協働	Rethink PROJECT、株式会社ピリカ、F・マリノススポーツクラブ		
対象	横浜F・マリノスユース所属選手		
実施日(期間)	2021年8月20日(金)	実施場所	マリノス本社～しんよこフットボールパーク
活動の目的 解決したい課題	昨今深刻化している海洋ごみの多くが人工芝など陸由来のごみが占めているという事実を含めた環境問題を、アカデミーの選手たちに学んでもらい体感してもらうことで、彼らがSDGsに当事者意識をもって向き合うきっかけとし、かつ、スポーツによるサステナブルな社会実現へのチャレンジとする。		
活動内容	株式会社ピリカの代表小嶋不二夫様を講師に招き、サッカーグラウンドからの人工芝流出や街のごみ問題などを題材にしながら、海洋ごみ問題の最前線を学ぶ勉強会を開催。また、世界108カ国で利用されているごみ拾いSNS「ピリカ」を実際に活用した清掃活動をしんよこフットボールパーク周辺で実施。		
活動の結果	参加者：13名（横浜F・マリノスユース所属選手）		
活動の様子	以下のメディア掲載記事をご参照ください。 ・ Sportsnavi「ピッチ上でも社会でも”世界基準”へ アカデミー生が学ぶ環境問題」 ・ カナロコ「サッカーうまいだけでは…」横浜M育成組織が環境学ぶ理由」 ・ 新横浜新聞「【F・マリノス】環境問題を考えるプロジェクトに挑戦、新横浜で清掃活動も」		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年9月)



F・Marinos Sports Club

活動名	秋の海ごみゼロウィーク「おうちのまわりでLTO！SNSキャンペーン」		
主催／協働	NPO法人海さくら、日本財団／プロスポーツチーム(21年9月時点：17チーム)		
対象	誰でも		
実施日(期間)	2021年9月1日(水)～30日(木)	実施場所	各自のおうちのまわり
活動の目的 解決したい課題	スポーツと清掃活動を軸に、海・自然環境への意識を高め、次世代に美しい自然を残すためのプロジェクト。 「海にゴミは行かせない！」を合言葉に、街から海に流れるごみを減らし、本来の美しい海・環境を取り戻す。 LTO活動の詳細は コチラ		
活動内容	秋の海ごみゼロウィーク(9/18～26)に合わせて本イベントを実施。 各自でゴミ拾い活動を行い、その様子を「#LTOzeroweek2021」を付けてSNSで投稿。 10/16以降のLTO時に受付で投稿画面を提示で「LTOキラキラマリノスケカード」をゲット。		
活動の結果	以下SNSアカウントより発信 ① F・マリノススポーツクラブ 、② マリノスケ 、③ トリコロールマーメイズ		
活動の様子	各自SNS(Twitter、Instagram)にて #LTOzeroweek2021 #fmarinos と検索		
対応するSDGs	   		



← ツイート

マリノスケと家の周りのゴミ拾いしてきた！！
コロナ前はスタジアム付近のゴミ拾いしてたけど、久しぶりにゴミ拾いした！！

#LTOzeroweek2021
#fmarinos



午後4:52 · 2021年9月30日 · Twitter for iPhone



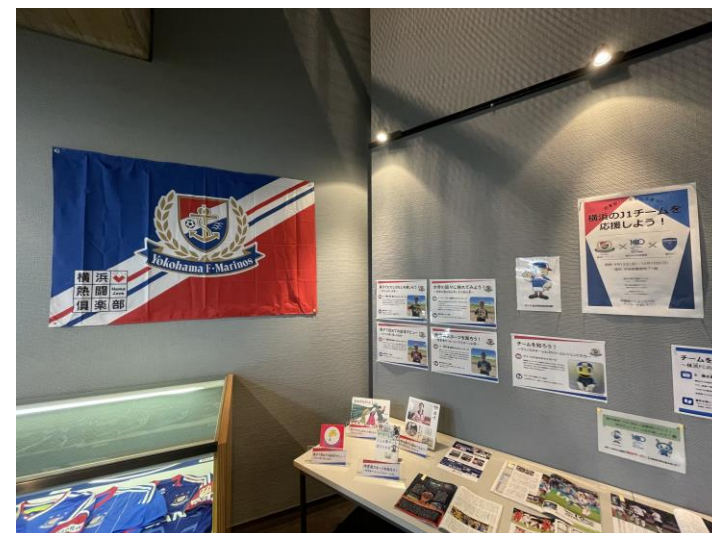
F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年9月)



F・Marinos Sports Club

活動名	横浜市立図書館100周年記念展示		
主催／協働	横浜市中心図書館、横浜FC		
対象	誰でも		
実施日(期間)	2021年9月13日～10月10日	実施場所	横浜市中心図書館
活動の目的 解決したい課題	・図書館を活用してもらう ・市民の読書活動を推進 ・図書館、読書を通じて、スポーツ・サッカーの楽しさを知ってもらう		
活動内容	・選手たちからのオススメ本の紹介 ・チームや横浜ダービーの歴史、関連グッズの展示 ・図書館×横浜F・マリノスコラボしおりの配布		
活動の結果	9/29の読売新聞に記事が掲載		
活動の様子	Twitterにて様子を発信 ① F・マリノススポーツクラブ 、② マリノスケ		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年9月)



F・Marinos Sports Club

活動名	「秋の交通事故防止運動」		
主催／協働	神奈川県警察本部 交通総務課		
対象	神奈川県民		
実施日(期間)	9月21日～30日	実施場所	神奈川県警公式Twitter
活動の目的 解決したい課題	交通安全活動の活性化、拡大を目的に、県内を活動拠点とし高い情報発信力を有するスポーツチームの協力により、交通安全メッセージ動画の撮影・配信を行い、交通安全活動の普及、促進並びに県内交通安全意識の一層の高揚を目指す		
活動内容	神奈川県警公式Twitterでのトリコロールマーメイズ（2名）による交通安全呼びかけの啓発協力		
活動の結果			
活動の様子	①9月22日配信ツイートは コチラ ②9月29日配信ツイートは コチラ		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年9月)



F-Marinos Sports Club

活動名	「第7回横浜の子どもが作る弁当コンクール」1次審査		
主催／協働	一般社団法人 横浜スパイス/共催 公益財団法人 よこはまユース		
対象	小学生		
実施日(期間)	2021年9月25日：2次審査 11月6日	実施場所	桜木町さくらリビング
活動の目的 解決したい課題	横浜の子ども「みんな」が弁当を作れるようになるために企画したコンクールです。毎回テーマを設けて小～中、特別支援学校まで展開。第7回テーマ「大切な人に食べてもらいたい弁当を作る」		
活動内容	テーマにあった弁当の審査※マリノスではスポーツにちなんだ弁当を選びました（10点うちF・マリノス賞1点）2次審査で実際に会場で作ってもらい表彰します。応募総数1680点（当日は委員が150点まで絞った中から審査）		
活動の結果	小中学校での食育教室の影響も毎年ある、サッカーボールやグランド、兄弟に食べてもらいたいお弁当も作成が出てきます。		
活動の様子	当日は、教育委員会、PTA、小学校校長会、中学校校長会、JA、崎陽軒、池商、等参加		
対応するSDGs	 		



F-Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年9月)



F-Marinos Sports Club

活動名	Rethink PROJECT : F・マリノスジュニアユース向け勉強会および清掃活動		
主催／協働	Rethink PROJECT、株式会社ピリカ、F・マリノススポーツクラブ		
対象	横浜F・マリノスジュニアユース所属選手		
実施日(期間)	2021年9月29日(水)	実施場所	しんよこフットボールパーク
活動の目的 解決したい課題	昨今深刻化している海洋ごみの多くが人工芝など陸由来のごみが占めているという事実を含めた環境問題を、アカデミーの選手たちに学んでもらい体感してもらうことで、彼らがSDGsに当事者意識をもって向き合うきっかけとし、かつ、スポーツによるサステナブルな社会実現へのチャレンジとする。		
活動内容	株式会社ピリカの代表小嶋不二夫様を講師に招き、サッカーグラウンドからの人工芝流出や街のごみ問題などを題材にしながら、海洋ごみ問題の最前線を学ぶ勉強会を開催。また、世界108カ国で利用されているごみ拾いSNS「ピリカ」を実際に活用した清掃活動をしんよこフットボールパーク周辺で実施。 ※先月はユースでも実施。		
活動の結果	参加者：35名（横浜F・マリノスジュニアユース所属選手）		
活動の様子	以下のメディア掲載記事をご参照ください。 ・BS朝日「 hバトンタッチSDGSはじめてます 」2021年10月16日(土)放送予定 ※株式会社ピリカの特集となり、放送の中で今回の取り組みが放映される予定です。		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年10月)



F・Marinos Sports Club

活動名	CHALLENGE THE FOODLOSS		
主催／協働	横浜市資源循環局		
対象	横浜市民		
実施日(期間)	2021年10月1日～2022年3月31日	実施場所	横浜市内各所
活動の目的 解決したい課題	食品ロスに対する市民への意識向上・啓発		
活動内容	・「ヨコハマ3 R 夢！」広報大使である横浜F・マリノスとして、小池龍太選手・岩田智輝選手・前田大然選手のビジュアルを使った食品ロス削減を呼び掛けるポスターを作成。		
活動の結果	・市内公立小・中・高等・特別支援学校、市内大学（約 500 校）、市内公共施設（市庁舎、区庁舎、スポーツセンター等、シーサイドライン新杉田駅構内、シーサイドライン車内、市営地下鉄ブルーライン駅構内にポスターを掲出		
活動の様子	・ポスターデザインは右記参照 ・横浜市の記者発表資料は こちら		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年10月)



活動名	ジェンダー平等実現のための横須賀市広報誌New Waveへの選手出演		
主催／協働	横須賀市市民部人権・男女共同参画課		
対象	横須賀市民		
実施日(期間)	2021年10月4日発行	実施場所	横須賀市内各所
活動の目的 解決したい課題	ジェンダー平等の実現のための市民の意識向上・啓発		
活動内容	・横須賀市が発行している広報誌New Waveの巻頭特集として渡辺皓太選手が登場。一児の父としての家事・育児についてのインタビューを実施		
活動の結果	・New Waveについて通常より多くのお問い合わせあり。(横須賀市からの情報)		
活動の様子	・誌面は こちら 。		
対応するSDGs			

New Wave Vol.55

ジェンダー平等実現のための広報紙



【特集】P2～5

ホームタウンチーム横浜F・マリノスの選手と考える
家族と過ごし、喜びを分かちあう大切さP6 おすすめ図書紹介
デュオよこすかをご利用ください

(後部写真) 日産スタジアム



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年10月)



活動名	横浜市 みんなのケータイリサイクル！		
主催／協働	横浜市資源循環局、横浜市内スポーツチーム		
対象	横浜F・マリノスホームゲーム来場者		
実施日(期間)	2021年5月～	実施場所	日産スタジアム
活動の目的 解決したい課題	・リチウムイオン電池を含む電子機器の発火トラブルの防止 ・携帯電話を構成するレアメタル（希少金属）のリサイクル促進 詳細は コチラ も参照。		
活動内容	・スタジアムにて携帯電話回収ボックスを設置、ホームゲーム来場者から不要な携帯電話を回収する。 ・回収された携帯電話は障がい者就労施設にて分解される。 ・横浜のスポーツチームが複数参画。		
活動の結果	・5月30日 約90台回収 ・8月28日 30台回収 ・10月16日 65台回収		
活動の様子	・使用済み携帯電話を捨てられず家に保管しているサポーターの方々も多く、一人で3台以上持ってきてくれる方も。 ・5月30日の実施時は回収ボックスからあふれるほど集まった。		
対応するSDGs	 		



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年10月)



活動名	横須賀市F・マリノスナンバープレート促進ポスター		
主催／協働	横須賀市役所文化・スポーツ観光部スポーツ振興課		
対象	横須賀市内原付保有者		
実施日(期間)	2021年10月	実施場所	横須賀市内各所
活動の目的 解決したい課題	横須賀市のホームタウンチームの盛り上げ施策としてF・マリノスデザインの原付用ナンバープレートを交付中。そのことをより広く知ってもらい、横須賀市にF・マリノスが根付く一助とする。 (現状のF・マリノスナンバープレートの普及率は全体のおよそ40%程。)		
活動内容	・マリノス君、マリノスケを起用したポスターを制作、市内各所に掲出。		
活動の結果			
活動の様子	・ポスターデザインは右記参照		
対応するSDGs			

ホームタウンチームを応援しよう！

F・マリノスデザイン ナンバープレート交付中！

無料でできる！すぐもらえる！

横須賀市 M1234 白プレート 50cc 以下
横須賀市 R1234 黄プレート 50cc 超～90cc 以下
横須賀市 F1234 赤プレート 90cc 超～125cc 以下

横須賀市役所本庁舎2階 市民税課にて交付中！
問い合わせ先：税務部市民税課 046-822-9733 詳しくはコチラ

2022年、久里浜に横浜F・マリノスの練習場が整備されます。



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年10月)



F-Marinos Sports Club

活動名	LEADS TO THE OCEAN 海につづくプロジェクト（通称：LTO）		
主催／協働	NPO法人海さくら、日本財団／プロスポーツチーム(21年10月時点：17チーム)		
対象	誰でも		
実施日(期間)	2021年1016日(土)	実施場所	日産スタジアム周辺
活動の目的 解決したい課題	スポーツと清掃活動を軸に、海・自然環境への意識を高め、次世代に美しい自然を残すためのプロジェクト。 「海にゴミは行かせない！」を合言葉に、街から海に流れるゴミを減らし、本来の美しい海・環境を取り戻す。 LTO活動の詳細は コチラ		
活動内容	日産スタジアムでのホームゲーム試合前にゴミ拾いを実施。 基本3時間前から試合開始までの間に実施しており、皆様のお好きな時間に参加可能。 年間に規定数以上のスタンプを集めると『ゴミ拾いマスター』に認定！（21シーズンは9個以上）		
活動の結果	参加者：53名 集めたゴミ(ゴミ袋)の数：可燃ゴミ8袋、不燃ゴミ9袋		
活動の様子	10月は1回実施。 入場者上限が少し緩和されたこともあり、前回よりも多くの方が参加してくれた。 9月に実施した【おうちでLTOキャンペーン】に参加してくれた方は22名いた。		
対応するSDGs	   		



F-Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年10月)



F-Marinos Sports Club

活動名	GOGOせや商店街ワードラリー2021		
主催／協働	瀬谷区役所（地域振興課）／瀬谷区商店街連合会		
対象	誰でも		
実施日(期間)	2021年10月18日～2021年11月23日	実施場所	瀬谷区内の4商店街
活動の目的 解決したい課題	本イベントを通して、商店街への来街促進および買い物促進を図る。 またウォーキングイベントでもあり、参加者の健康増進も目的の一つ。		
活動内容	商店街を巡って、店舗に掲載されている【選手たちが教えるワード】を探し集める。 2種類のワードを集めると参加賞がもらえ、4種類のワード全てを集めると抽選で豪華賞品が当たる。		
活動の結果	11月23日まで実施中		
活動の様子	本イベントをきっかけに、瀬谷区の商店街へ足を運ぶ人、ウォーキングを行う人が増えてくれることに期待。		
対応するSDGs	 		



F-Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年10月)



F-Marinos Sports Club

活動名	神奈川区中学校PTA向け食育講話		
主催／協働	神奈川区中学校PTA		
対象	神奈川区中学校PTAの方々		
実施日(期間)	2021年10月6日	実施場所	オンライン
活動の目的 解決したい課題	保護者の方々に中学生年代の食育で大切なことを学んでもらい、お子様（中学生）の毎日の食生活に役立ててもらう。		
活動内容	当初は会場に集まっての実施を予定していたが、コロナの影響によりオンラインで実施。		
活動の結果	13名参加 別途参加者からアンケートを集約		
活動の様子	直接顔を合わせての実施が望ましかったが、オンライン実施に切り替え、中止にはしなかったことが良かった。今後はオンラインも活用しながら、多くの保護者を対象に実施していきたい。		
対応するSDGs	 		



F-Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年11月)



F・Marinos Sports Club

活動名	#小机タオマフロード		
主催／協働	横浜F・マリノス 港北区役所 日産スタジアム		
対象	日産スタジアム来場者		
実施日(期間)	2021年11月16日～	実施場所	小机
活動の目的 解決したい課題	日産スタジアム周辺のトリコロール化による彩り		
活動内容	・小机駅から日産スタジアムに向かう道にある目隠しフェンスにF・マリノスの過去のタオルマフラーのデザインをあしらった装飾を日産スタジアムと協働で実施。 ・港北区との連携協定の中で特例的に実施。		
活動の結果	・およそ100mにわたって装飾が施された。		
活動の様子	・看板デザインは右記参照		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年11月)



F・Marinos Sports Club

活動名	「2021 ふるさと港北ふれあいまつりon-line」への参加		
主催／協働	ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会/港北区役所地域振興課 港北区連合町内会ほか地域団体		
対象	港北区民		
実施日(期間)	2021年11月6日～11月21日 (コアデイ13日)	実施場所	Web上、横浜アリーナ
活動の目的 解決したい課題	・港北区内の地域振興 ・コロナ禍における地域イベント停止などによる近隣住民同士のつながりの機会の喪失		
活動内容	・コアデイに横浜アリーナで行われたLIVE配信イベントへのトリコロールマーメイズ・クラブスタッフの出演 ・動画コンテンツの提供 ・まつり全体へのプレゼント協賛		
活動の結果	・港北区の地域に根差したイベント「ふるさと港北ふれあいまつり」に地域団体ともに参加することで、一体感およびつながる機会を創出		
活動の様子	まつり用に制作したトリコロールマーメイズのインタビュー動画 RUNAさん篇 KAHOさん篇		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年11月)



活動名	横浜市 みんなのケータイリサイクル！		
主催／協働	横浜市資源循環局、横浜市内スポーツチーム		
対象	横浜F・マリノスホームゲーム来場者		
実施日(期間)	2021年5月～	実施場所	日産スタジアム
活動の目的 解決したい課題	・リチウムイオン電池を含む電子機器の発火トラブルの防止 ・携帯電話を構成するレアメタル（希少金属）のリサイクル促進 詳細は コチラ も参照。		
活動内容	・スタジアムにて携帯電話回収ボックスを設置、ホームゲーム来場者から不要な携帯電話を回収する。 ・回収された携帯電話は障がい者就労施設にて分解される。 ・横浜のスポーツチームが複数参画。		
活動の結果	・5月30日 約90台回収 ・8月28日 30台回収 ・10月16日 65台回収 ・11月3日 35台回収 ・11月6日 35台回収		
活動の様子	・使用済み携帯電話を捨てられず家に保管しているサポーターの方々も多く、一人で3台以上持ってきてくれる方も。 ・5月30日の実施時は回収ボックスからあふれるほど集まった。		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年11月)



活動名	LEADS TO THE OCEAN 海につづくプロジェクト (通称：LTO)		
主催／協働	NPO法人海さくら、日本財団／プロスポーツチーム(21年10月時点：17チーム)		
対象	誰でも		
実施日(期間)	2021年11月3日(水・祝)、6日(土)	実施場所	日産スタジアム周辺
活動の目的 解決したい課題	スポーツと清掃活動を軸に、海・自然環境への意識を高め、次世代に美しい自然を残すためのプロジェクト。 「海にゴミは行かせない!」を合言葉に、街から海に流れるゴミを減らし、本来の美しい海・環境を取り戻す。 LTO活動の詳細は コチラ		
活動内容	日産スタジアムでのホームゲーム試合前にゴミ拾いを実施。 基本3時間前から試合開始までの間に実施しており、皆様のお好きな時間に参加可能。 年間に規定数以上のスタンプを集めると『ゴミ拾いマスター』に認定！(21シーズンは9個以上)		
活動の結果	11/3 ●参加者：61名 ●集めたごみ(ごみ袋)の数：可燃ごみ9袋、不燃ごみ10袋 11/6 ●参加者：105名 ●集めたごみ(ごみ袋)の数：可燃ごみ11袋、不燃ごみ14袋 ●表彰式参加者：31名		
活動の様子	11月は中2日で2回実施。 11/6は横浜GRITSさんとコラボした【W(ダブル)LTO】を実施。 参加者には選手カードに加えて「マリノスケ&グルーガコラボカード」も配布。 またスタジアム内にて【2021シーズンLTOゴミ拾いマスター表彰式】も実施。		
対応するSDGs	   		



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年11月)



F・Marinos Sports Club

活動名	みどり国際交流ラウンジサッカー教室		
主催／協働	みどり国際交流ラウンジ		
対象	緑区在住の小学生		
実施日(期間)	2021年11月7日(日)	実施場所	緑スポーツセンター
活動の目的 解決したい課題	・緑区には外国籍の方が多く住んでおり（特にインド人の方）日本人と外国人との国際交流を行いたく、人気があるサッカーを通して交流（国際交流）する機会を作りたい ・緑SCでのサッカー教室実施をしていることがきっかけでこの取り組みがスタート		
活動内容	・緑SCにて外国籍の子どもと日本人の子どもの交流 ・サッカー教室実施		
活動の結果	・10名参加 ・対面で実施したかったがコロナ感染の影響を考え、少人数で実施し撮影を行い後日YouTubeにて公開予定 ※現在YouTube公開に向けて内容を調整中		
活動の様子	・当日はインド人の子どもの欠席が多かったが、日本人の子どもと楽しく交流が出来た ・通訳にも入って頂き実施 ・2022年3月までにはもう1度実施予定（対面で多くの外国人、日本人の子どもが参加してくれることを期待）		
対応するSDGs	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに		



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年11月)



F・Marinos Sports Club

活動名	青葉区保育ネットワーク研修（保育士向けサッカー教室）		
主催／協働	青葉区こども家庭支援課／荏田保育園		
対象	青葉区内保育施設94園の保育士（荏田保育園5歳児）		
実施日(期間)	2021年11月12日(金)	実施場所	荏田保育園
活動の目的 解決したい課題	・体を動かす(スポーツをする)ことが好きな子どもを育てられる保育士の育成。 ・帰宅後の子どもを通して、保護者の運動習慣づけの契機。		
活動内容	・荏田保育園園児へのサッカー教室を実施し、その様子を撮影。 ・コーチの解説、指導時のポイントなどを挟み込んだ動画を作成し、区内保育士へ配信。 ・区内保育士からの質問に、コーチが回答。		
活動の結果	・当日は園児21名、担当保育士3名が参加 ・動画は現在編集中（22年2月頃配信予定）		
活動の様子	青葉区こども家庭支援課と初めての連携で、天候にも恵まれ無事スタート出来たことが何より良かった。動画の完成、また動画を見た保育士の方々の反応が楽しみである。 22年1月9日には連携第2弾となる青葉区地域育児支援事業（親子サッカー教室）を実施予定。		
対応するSDGs	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに		



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年11月)



F・Marinos Sports Club

活動名	電動車椅子サッカー展示会		
主催／協働	横浜市中心図書館／電動車椅子サッカー横浜連絡会		
対象	誰でも		
実施日(期間)	2021年11月16日～12月19日	実施場所	横浜市中心図書館(1F展示スペース)
活動の目的 解決したい課題	・ 障害者週間にあわせて実施し、電動車椅子サッカーおよび障がい者スポーツについての認知・関心の向上 ・ 電動車椅子サッカー大会「横浜F・マリノスカップ」の周知 ・ 読書習慣、図書館来館者の向上		
活動内容	・ 電動車椅子サッカー関連物品・図書の展示 ・ 障害者スポーツ(横浜F・マリノスフットボール)・パラリンピック関連の展示 ・ 図書館×横浜F・マリノスコラボしおりの配布(デザイン2種類)		
活動の結果	展示場所が例年の地下1Fから1Fに変更となり、来館者の目に留まりやすくなった。		
活動の様子	【情報発信】 ① F・マリノススポーツクラブHP ② F・マリノススポーツクラブTwitterアカウント		
対応するSDGs	 		



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年11月)



活動名	人権研修会		
主催／協働	中区役所主催/電動車いす横浜協議会		
対象	中区役所管理職 職員		
実施日(期間)	2021年11月2日	実施場所	中区区役所会議室
活動の目的 解決したい課題	・インクルーシブな活動の理解促進 ・社団の活動の認知拡大		
活動内容	・望月理事より一般社団法人F・マリノススポーツクラブの取り組みおよびインクルーシブな活動の紹介 ・電動車いす横浜協議会代表の野田さんによる電動車いすサッカーの紹介及びマリノスとの関りを説明		
活動の結果	・直接障害を持つ方の生の声を聴くことはインパクトが強い。 ・視聴者の方も集中して聴いていた。		
活動の様子	マリノスの活動が良い形で障害を持つ方と世の中をつなぐ橋渡しの役目をしていると感じる。 今後もこのような機会を増やしていきたい。		
対応するSDGs	 		



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年11月)



F-Marinos Sports Club

活動名	日本赤十字社 献血活動の協力		
主催／協働	神奈川県赤十字血液センター		
対象	マリノスホームゲーム来場者		
実施日(期間)	2021年11月6日 (5月9日も実施)	実施場所	日産スタジアム
活動の目的 解決したい課題	コロナ禍で不足している血液の採取／災害時や病気で必要とされる血液の確保		
活動内容	・ホームゲームにて献血車を設置、来場した方に献血の協力を促す。 ・選手のメッセージカードプレゼント		
活動の結果	11/6 受付200mℓ 8件400mℓ48件 不適数15件 結果41件採取 (5/9 受付200mℓ 1件400mℓ42件 不適数 3件 結果40件採取)		
活動の様子	毎年恒例となっていて、この企画を楽しみにしているサポーターも多い。		
対応するSDGs			



F-Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年11月)



F・Marinos Sports Club

活動名	あつまれ神奈川2021ユニセフハンドインハンド		
主催／協働	神奈川ユニセフ協会		
対象	神奈川県民		
実施日(期間)	2021年11月16日～12月31日	実施場所	WEB
活動の目的 解決したい課題	「すべての子供の権利が実現される世界を」をテーマにして、紛争や貧困、予防可能な病気、気候変動などで被害を受けている子供たちを助ける活動		
活動内容	オンラインによる募金プロジェクトのPR協力		
活動の結果	目標300,000円 達成金額293,833円 ※12月14日時点		
活動の様子	#あつまれ神奈川2021ハンドインハンド		
対応するSDGs			

【横浜F・マリノス】トリコロールマーメイズ Akiraさんとマリノスケ

■応援メッセージ：

毎年ユニセフ街頭募金を応援してくれるマリノスケと、熱くて美しいパフォーマンスが素敵なAkiraさん（横浜F・マリノス公式チアリーダーズ Tricolore Mermaids）の「すべての子どもに〇〇を」です。



【横浜F・マリノス】アンバサダー波戸康広さん

■応援メッセージ：

復興支援や将棋、高校サッカーの解説など幅広く活躍する、往年のサイドバックプレイヤー波戸康広さんが語る「すべての子どもに〇〇を」とは？



2021/11/17

©F.M.S.C.



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	記念艦三笠・ティボディエ邸 トリコロールライトアップ		
主催／協働	横須賀市役所 公益財団法人三笠保存会 よこすか近代遺産ミュージアムティボディエ邸		
対象	横須賀市民他		
実施日(期間)	2021年12月1日～12月19日	実施場所	記念艦三笠・ティボディエ邸
活動の目的 解決したい課題	・横須賀市とF・マリノスの結びつきをさらに強める。		
活動内容	・横須賀市の観光スポットである記念艦三笠とティボディエ邸を、期間中赤白青のトリコロールにライトアップ。 ・記念艦三笠のトリコロールライトアップは2019年から3年連続。今回よりティボディエ邸も加わった。 ・事前抽選により選ばれた方は、ライトアップされた両施設をバックにマリノスケとの記念撮影を実施。		
活動の結果	・ライトアップ期間は記念艦三笠が12月1日～12月19日、ティボディエ邸が12月1日～12月15日。		
活動の様子	・横須賀市からのリリースはコチラ ・マリノスケとの記念撮影に参加した方々からは、「こういう機会に横須賀の観光スポットに訪れることができてよかった」という声も。 ・読売新聞の記事はコチラ		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	#命つなぐアクション AED/CPR 体験ブース		
主催／協働	一般社団法人松田直樹NextGeneration、港北消防署、港北消防団		
対象	横浜F・マリノスホームゲーム来場者		
実施日(期間)	2021年12月4日	実施場所	日産スタジアム ゲート前広場
活動の目的 解決したい課題	・人が倒れているのを見かけた時に正しい行動をとれるように。		
活動内容	・東ゲート前広場にAED/CPR体験ができるブースを設置、隣には松田直樹さんのユニフォーム展示を実施。 ・ブース来訪者に救急救命の基本的な流れが記載されている松田直樹さんカードを配布		
活動の結果	・カードは700枚近くを配布(体験者数は未カウント)		
活動の様子	・ユニフォーム展示を見た流れでAED/CPR体験に流れる人が多数。 ・ブースにいらっしゃる方々には「講習会受講済みです!」という方も多くいらっしゃった。 ・当日視察に来ていた村井チェアマンにもブースにお越しいただいた。		
対応するSDGs	 		



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年12月)



活動名	LEADS TO THE OCEAN 海につづくプロジェクト (通称：LTO)		
主催／協働	NPO法人海さくら、日本財団／プロスポーツチーム(21年12月時点：17チーム)		
対象	誰でも		
実施日(期間)	2021年12月4日(土)	実施場所	日産スタジアム周辺
活動の目的 解決したい課題	スポーツと清掃活動を軸に、海・自然環境への意識を高め、次世代に美しい自然を残すためのプロジェクト。 「海にゴミは行かせない！」を合言葉に、街から海に流れるゴミを減らし、本来の美しい海・環境を取り戻す。 LTO活動の詳細は コチラ		
活動内容	日産スタジアムでのホームゲーム試合前にゴミ拾いを実施。 基本3時間前から試合開始までの間に実施しており、皆様のお好きな時間に参加可能。 年間に規定数以上のスタンプを集めると『ゴミ拾いマスター』に認定！（21シーズンは9個以上）		
活動の結果	12/4 参加者： 52名 集めたゴミ(ごみ袋)の数：可燃ごみ 9袋、不燃ごみ10袋		
活動の様子	12/4のLTOをもって今シーズンは終了。（21シーズンは年13回実施） 最終回は川崎フロンターレとの『LTOダービー』でスタンプ2個。 当日は12名の方が新たにゴミ拾いマスターになり、21シーズンは合計で47名の方がゴミ拾いマスターに認定。 22シーズンも実施するので、もっと多くの方に周知そして参加してもらえよう取り組みにしていきたい。		
対応するSDGs	   		



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年12月)



活動名	横浜市 みんなのケータイリサイクル！		
主催／協働	横浜市資源循環局、横浜市内スポーツチーム		
対象	横浜F・マリノスホームゲーム来場者		
実施日(期間)	2021年12月4日（2021年5月～）	実施場所	日産スタジアム
活動の目的 解決したい課題	・リチウムイオン電池を含む電子機器の発火トラブルの防止 ・携帯電話を構成するレアメタル（希少金属）のリサイクル促進 詳細は コチラ も参照。		
活動内容	・スタジアムにて携帯電話回収ボックスを設置、ホームゲーム来場者から不要な携帯電話を回収する。 ・回収された携帯電話は障がい者就労施設にて分解される。 ・横浜のスポーツチームが複数参画。		
活動の結果	・5月30日 約90台回収 ・8月28日 30台回収 ・10月16日 65台回収 ・11月3日 35台回収 ・11月6日 35台回収 ・12月4日 31台回収		
活動の様子	・使用済み携帯電話を捨てられず家に保管しているサポーターの方々も多く、一人で3台以上持ってきてくれる方も。 ・5月30日の実施時は回収ボックスからあふれるほど集まった。		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	第9回港南区ひまわりの花絵画コンクール表彰式		
共催	港南区商店街連合会・港南区役所		
対象	港南区、近隣区在住・在学の小学生およびひまわりを通して交流のある宮城県大崎市の小学生		
実施日(期間)	2021年12月4日	実施場所	港南区役所
活動の目的 解決したい課題	港南区の花である「ひまわり」を描いた作品を募集し、その中から各賞を受賞した子どもたちを表彰。		
活動内容	横浜F・マリノス賞受賞者（1名）に選手サイン入りシャツ、オリジナルノベルティグッズを贈呈。		
活動の結果			
活動の様子	2014年から関わらせていただいているので、今後この活動を通じて港南区にもっと多くのひまわりを咲かせられるような、また港南区の子どもたちがもっとひまわりを好きになってくれるような新たな取り組みにもチャレンジしていきたい。		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	「年末の交通事故防止運動」		
主催／協働	神奈川県警察本部 交通総務課		
対象	神奈川県民		
実施日(期間)	12/11～20 (小机駅前12/13実施)	実施場所	神奈川県警公式Twitter／小机駅前交差点
活動の目的 解決したい課題	例年、年末にかけては交通量や飲酒機会の増加により、交通事故の多発が懸念されることから、県民の安全・安心を守る交通安全活動を推進すべく、年末の交通事故防止運動期間中、歩行者保護誘導活動への啓発協力		
活動内容	神奈川県警公式Twitterでの波戸アンバサダーによる交通安全呼びかけの啓発協力、および、トリコロールマーメイズによる歩行者保護誘導活動への啓発協力		
活動の結果			
活動の様子	写真参照		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	日産presents神奈川区・鶴見区合同親子3世代サッカー教室		
主催／協働	日産横浜工場、神奈川区役所、鶴見区役所		
対象	神奈川区・鶴見区在住の親子3世代家族（祖父母、父母、子供）		
実施日(期間)	2021年12月12日	実施場所	神奈川スポーツセンター
活動の目的 解決したい課題	地域のスポーツ振興および高齢者対策としての運動促進		
活動内容	マリノスふれあいコーチと栗原勇蔵クラブシップキャプテンを交えて3世代のサッカー教室を実施		
活動の結果	25組家族、総勢86名の参加		
活動の様子	けが人もなく無事に実施することができた。 祖父母の方々がとても元気で、思っていた以上にアクティブにプログラムを進めることができた。 実施後のアンケートでも満足されたという声が多かったので、今後更に内容をブラッシュアップしていきたいと思う。		
対応するSDGs	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを		



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年12月)



F-Marinosaurs Sports Club

活動名	LTO WINTER EVENT 2021		
主催／協働	NPO法人海さくら、日本財団／プロスポーツチーム(21年12月時点：17チーム)		
対象	誰でも（事前申し込み）		
実施日(期間)	2021年12月19日(土)	実施場所	江の島 片瀬海岸
活動の目的 解決したい課題	スポーツと清掃活動を軸に、海・自然環境への意識を高め、次世代に美しい自然を残すためのプロジェクト。 「海にゴミは行かせない！」を合言葉に、街から海に流れるごみを減らし、本来の美しい海・環境を取り戻す。 LTO活動の詳細は コチラ		
活動内容	江の島片瀬海岸でゴミ拾いを実施。 各チームから様々なゲストが参加。（F・マリノスからはマリノスケとトリコロールマーメイズ（5名）が参加） ゴミ拾いに加えて、海岸に埋まっている宝探しやステージ上での催しを実施。		
活動の結果	ゴミ拾い参加者：324名 集めたゴミ(ゴミ袋)の数：可燃ゴミ45袋、不燃ゴミ57袋		
活動の様子	・昨年は残念ながら中止となったが、今回は良い天気のもと実施することが出来て良かった。 ・加盟チームや参加者が前回より増えていてとても賑やかだった。 ・他ではなかなか見ることが出来ない、多種スポーツの交流があるのがこのイベントの良さだと感じた。 ※当日の活動の様子→ ①LTO公式FACEBOOK 、 ②海さくらInstagram		
対応するSDGs	   		



F・Marinosaurs Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(21年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	藤が丘小学校45周年事業		
主催／協働	藤が丘小学校（45周年実行委員会）		
対象	藤が丘小学校生徒		
実施日(期間)	2021年12月22日	実施場所	横浜市立藤が丘小学校
活動の目的 解決したい課題	コロナ禍で子どもたちが楽しみにしている活動が減っているため、子どもたちが笑顔になる活動、子どもたちの記憶に残る活動をしたいという思いで企画		
活動内容	①横浜F・マリノスの波戸康弘アンバサダーによる講演会（タイトル『日々の継続が、夢への第一歩』） ②青葉区出身の水沼選手、高丘選手からのメッセージ動画およびサイン入りボールを寄贈		
活動の結果			
活動の様子	実行委員会の方々の入念な事前準備のおかげで、大きな問題も無くスムーズに終わることが出来た。 当日体育館には5,6年生のみであったが、3,4年生もLIVE配信映像を各教室で視聴。 努力を積み重ねて夢を掴んだ波戸アンバサダーの話は、子どもはもちろん、大人の方々にもとても大きなパワーを与えることをあらためて感じた。		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

お問い合わせ先



一般社団法人F・マリノススポーツクラブ 地域連携本部

yfm-hometown@marinos.co.jp

お気軽にお問い合わせください！